

多文化共生時代がやってきた

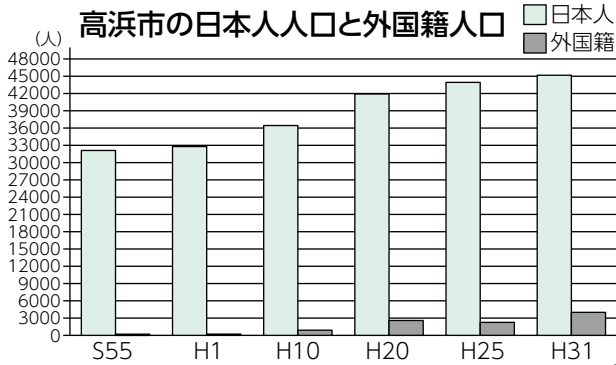
今年1月の総務省発表によると日本に住む外国人は過去最多となり、初めて総人口の2パーセントを超えました。

そのなかで、高浜市は2月1日現在で外国人人口3,997人、市の人口の8パーセントとなりました。外国人比率の高さが県内でもトップクラスのまちなのです。

市になり50年目、多文化共生の時代が到来しました。コンパクトな高浜市で共に暮らしていくためには？



▲高浜の防災を考える市民の会が行った外国人対象の勉強会。起震車で地震を初体験して揺れにビックリする人も。



高浜市は、全国のなかでも「第2次産業への就業率」がトップクラスという統計結果もあります。現在、市内に住む外国人の年代では20〜30歳代が最も多く、仕事をしに

高浜市に来たという方の多さを物語っています。

高浜市の外国人の人口は、グラフにあるように、この約10年間で右肩上がりです。この30年間ほどで外国人比率が著しく増加していることがわかります。

約10人に1人が外国人となれば、日常生活のなかで、「日本のルールを理解していないとお互いに困ってしまう」ことを目にする、感じることも増えてくるでしょう。

市役所や教育機関でも、左記のような対応をしています

- ◆通訳者(市役所・いきいき広場)の設置(ポルトガル語・ベトナム語)
- ◆外国人が多く利用する市役所窓口では外国語対応のタブレット端末を使用
- ◆学校では翻訳用端末の活用のほか早期適応教室や通訳者を設置
- ◆可燃ごみ・資源ごみのカレンダーの外国語版配布や、ごみ出し拠点に不法投棄禁止などの看板を多言語化して設置
- ◆外国語版高浜市防災メールの運用(ポルトガル語・スペイン語・英語)
- ◆外国人向け防災訓練を開催
- ◆市公式ホームページ翻訳機能(英語・ポルトガル語・中国語・韓国語) など



市主催の外国人向け防災訓練

市役所勤務の通訳さんに聞きました

書類手続のこと以外でよくある質問は？

▶ 一番多いのは、日本語学校と公営住宅のこと。確定申告のこともよく聞かれます。

日本に来て感じていることは？

- ▶ (左・西川さん) もう10年以上勤めていますが、年々外国人が増えてきているなあと思います。
- ▶ (右・リンさん) 自動販売機の多さにびっくりしました。セルフレジなど自動のものがたくさんですね。

